



Storage Replication Adapter を有効にする VSC, VASA Provider, and SRA 9.7

NetApp
March 21, 2024

目次

Storage Replication Adapter を有効にする	1
SRM アプライアンスで SRA を設定する	2
Storage Replication Adapter (SRA) クレデンシャルを更新する	3

Storage Replication Adapter を有効にする

Virtual Storage Console (VSC)、VASA Provider、Storage Replication Adapter (SRA) 仮想アプライアンスには、ディザスタリカバリを設定するためにVSCでSRA機能を使用できるようにするオプションがあります。

作業を開始する前に

- vCenter Server インスタンスをセットアップし、ESXi を設定しておく必要があります。
- VSC、VASA Provider、SRA仮想アプライアンスを導入しておく必要があります。
- Site Recovery Manager (SRM) ディザスタリカバリ解決策を設定する場合のみ、SRA プラグインの .msi ファイル、または SRM アプライアンスの .tar.gz ファイルをダウンロードしておく必要があります。

["Site Recovery Manager Installation and Configuration Site Recovery Manager 8.2" を参照してください](#) に詳細を示します。

このタスクについて

VASA Provider と SRA の機能を柔軟に有効化できるため、必要なワークフローだけを実行できます。

手順

1. VMware vSphere の Web ユーザインターフェイスにログインします。
2. vSphere Clientで、メニューをクリックします。メニュー[Virtual Storage Console]。
3. [* 設定 *] をクリックします。
4. [管理設定 *] タブの [機能の管理 *] をクリックします。
5. Manage Capabilities * ダイアログボックスで、有効にする SRA 拡張機能を選択します。
6. VSC、VASA Provider、SRA仮想アプライアンスのIPアドレスと管理者パスワードを入力し、* Apply * をクリックします。
7. SRA を導入するには、次のいずれかの方法を使用します。

オプション	説明
Windows SRMの場合	<ol style="list-style-type: none">a. ダウンロードした SRA プラグインの .msi インストーラをダブルクリックします。b. 画面に表示される指示に従います。c. 導入した仮想アプライアンスのIPアドレスとパスワードを入力します。

オプション	説明
SRMアプライアンスの場合	<ul style="list-style-type: none"> a. SRMアプライアンスのページにアクセスし、SRMアプライアンスの* Storage Replication Adapters *ページに移動します。 b. [新しいアダプタ] をクリックします。 c. SRAプラグインの.tar.gzインストーラをSRMにアップロードします。 d. アダプタを再スキャンして、SRM * Storage Replication Adapters *ページで詳細が更新されていることを確認します。

選択した拡張機能が設定可能になったかどうかを確認するには、vSphere Client からログアウトして、再度ログインする必要があります。

。関連情報 *

[ディザスタリカバリ用の Storage Replication Adapter を設定する](#)

SRM アプライアンスで SRA を設定する

SRM アプライアンスを導入したら、SRM アプライアンスに SRA を設定する必要があります。SRA を正しく設定すると、ディザスタリカバリ管理のために SRM アプライアンスが SRA と通信できるようになります。SRMアプライアンスとSRAの間の通信を有効にするためには、VSC、VASA Provider、SRA仮想アプライアンスのクレデンシャル（IPアドレスと管理者パスワード）をSRMアプライアンスに保存する必要があります。

作業を開始する前に

tar .gzファイルをSRMアプライアンスにアップロードする必要があります。

このタスクについて

SRM アプライアンスで SRA を設定すると、SRA クレデンシャルが SRM アプライアンスに保存されます。

手順

1. putty を使用して、管理者アカウントで SRM アプライアンスにログインします。
2. root ユーザに切り替えます。root ユーザには「root」コマンドを使用します
3. ログの場所で、次のコマンドを入力して、SRAの「Docker PS-I」で使用されるDocker IDを取得します
4. コンテナIDにログインするには、コマンド「docker exec-it-u SRM <container id>sh`」を入力します
5. 次のコマンドを使用して、SRMにVSC、VASA Provider、SRA仮想アプライアンスのIPアドレスとパスワードを設定します。「perl command.pl -i <va-IP> administrator <va-password>」

ストレージクレデンシャルが保存されたことを示す成功メッセージが表示されます。SRA は、指定された IP アドレス、ポート、およびクレデンシャルを使用して SRA サーバと通信できます。

Storage Replication Adapter (SRA) クレデンシャルを更新する

SRM が SRA と通信するためには、SRA クレデンシャルを変更した場合に SRM サーバ上のクレデンシャルを更新する必要があります。

作業を開始する前に

「SRM アプライアンスでの SRA の設定」に記載されている手順を実行しておく必要があります。

SRM アプライアンスで SRA を設定する

手順

1. 次のコマンドを使用して'/SRM/SRA/conf'ディレクトリの内容を削除します
 - a. `cd /SRM / SRA /conf`
 - b. `RM-RF *`
2. perl コマンドを実行して、SRA に新しいクレデンシャルを設定します。
 - a. `cd /SRM / SRA /`
 - b. `Perl command.pl -i <va-IP>管理者<va-password>`

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。